



理研ビタミン株式会社

証券コード：4526

個人投資家の皆さんへ

2026年1月9日

もちづき つとむ
代表取締役社長 望月 敦



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれます。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに当社が計画・予測したものです。実際の業績などは今後の様々な条件・要素により、この計画などとは異なる場合があり、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

- ✓ 理研ビタミンは天然物の有効利用と独自の技術で豊かな暮らしに貢献する企業
- ✓ 食品・改良剤・ヘルスケアの3分野で幅広い価値を提供
- ✓ 国内で持続可能な事業基盤を強化し、海外での飛躍に向けた体制構築を進行中

1. 会社概要と歴史

2. 幅広い事業展開

3. 業績と成長戦略

4. 株主還元

東証プライム市場上場の食品メーカー

商号	理研ビタミン株式会社
設立年月	1949年8月
資本金	25億3,700万円
連結売上高	955億円
従業員数	997名（連結1,858名）
事業内容	家庭用食品、業務用食品、加工食品用原料、食品用改良剤、化成品用改良剤、ビタミン類などの製造・販売
拠点数	国内12（本社、さいたまオフィス、支店5、工場5）
連結子会社	国内4、海外8

(2025年3月末現在)



本社外観（UR都市機構提供）

主にドレッシングとわかめの会社として認知

シェアNo.1！



ノンオイルドレッシング



国産乾燥カットわかめ
インスタントわかめスープ



食塩無添加で
根強い人気



だしの素

理化学研究所の天然ビタミンA事業が原点



▲ビタミンA製品のポスター

- 戦前、理化学研究所が研究成果を製品化する事業会社を多数設立
- その一社から天然ビタミンA事業を引き継ぎ理研ビタミン油(株)※を設立（1949年）

※1980年、理研ビタミン(株)に社名変更

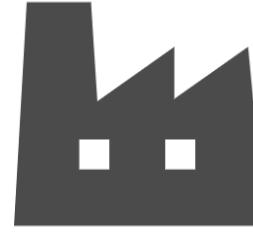
設立当初は
天然ビタミンAメーカー

魚の内臓からビタミンAを抽出・精製・濃縮



合成ビタミンAの台頭により多角化路線へ

1950年代



海外メーカー

合成ビタミンAの
量産に成功

大量

安価



事業継続の危機

| 天然ビタミンA事業で培ったもの

- 有効成分の抽出・精製・濃縮技術
- 水産関係者との人脈
- ビタミンに関する知見

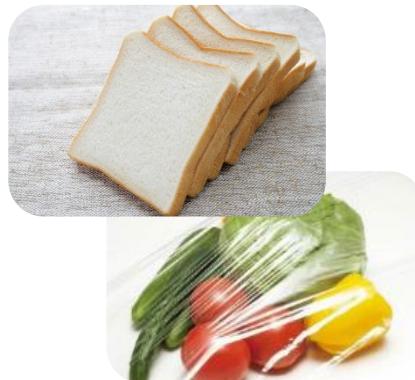
これらを活かして新規事業を模索

天然物の有効利用と独自の技術で多角化

主原料は食用油脂



改良剤



高純度の乳化剤
「蒸留モノグリセライド」を
日本で初めて生産

分子蒸留技術※

※ビタミンAの精製・濃縮技術

- 多くの用途を開発
- 化成品に応用
- 多様な改良剤へ

食品



即席麺のスープ

抽出・精製・濃縮技術



3つの製品分野で事業を展開

食品

- 海藻
- エキス・調味料
- ドレッシング



主な競合

- 国内の調味料メーカー
- 国内の乾物メーカー

改良剤

- 食品用改良剤
(乳化剤、ビタミン、色素)
- 化成品用改良剤

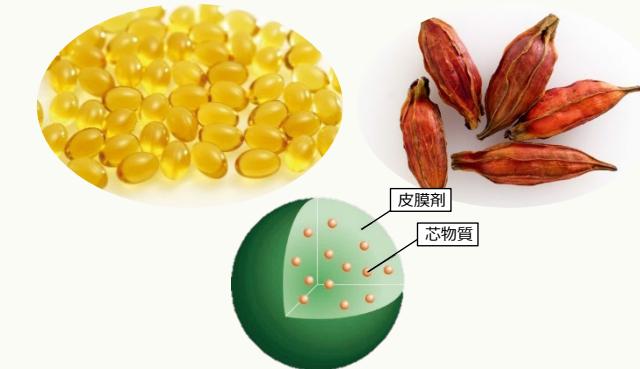


主な競合

- 国内外の油脂メーカー
- 国内外の化学メーカー

ヘルスケア

- ビタミン
- 機能性食品用原料
- マイクロカプセル



主な競合

- 国内外の化学メーカー
- 国内の健康食品原料メーカー

企業理念

天然物の有効利用を図る技術と商品で、
人々の健康と栄養に寄与し、社会に貢献する



1. 会社概要と歴史

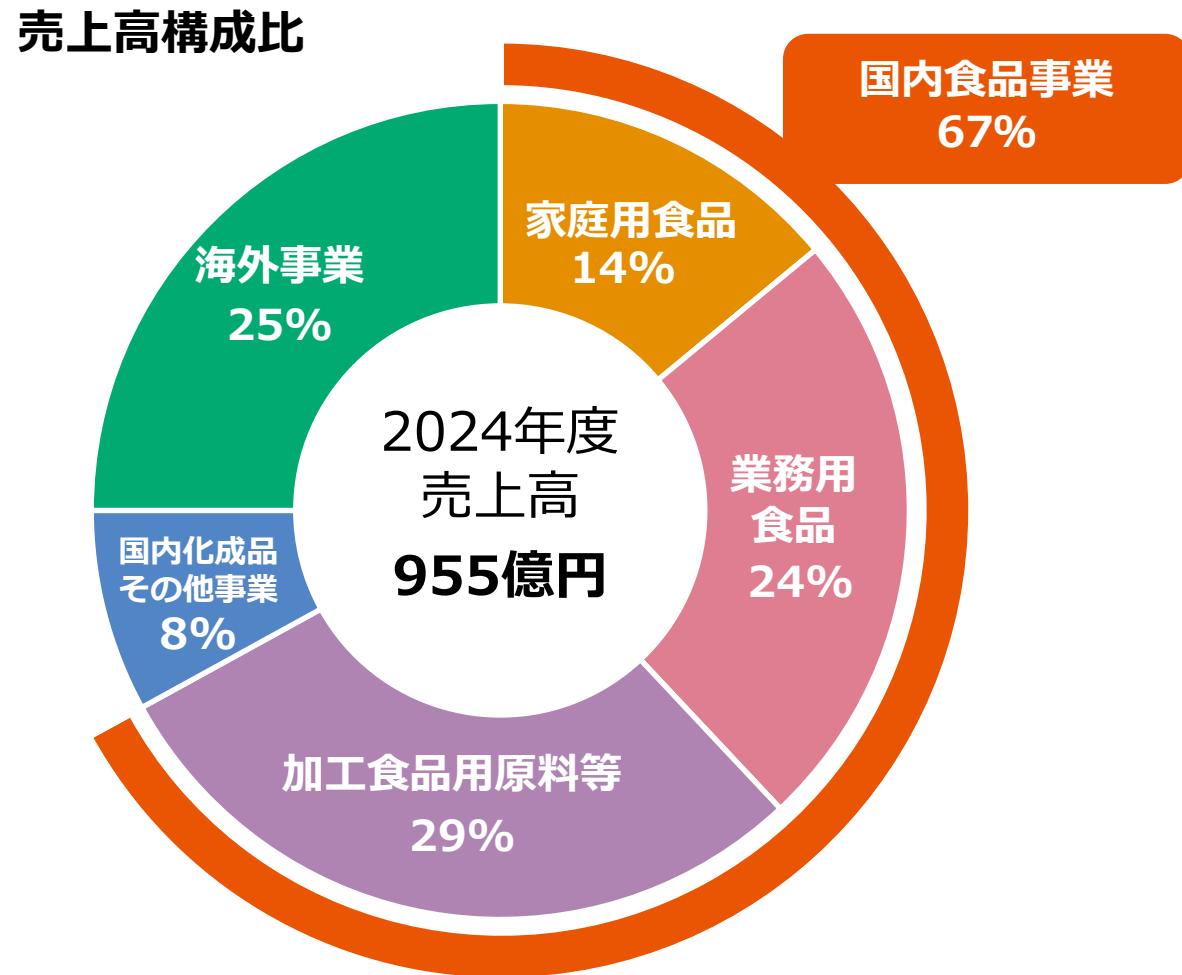
2. 幅広い事業展開

3. 業績と成長戦略

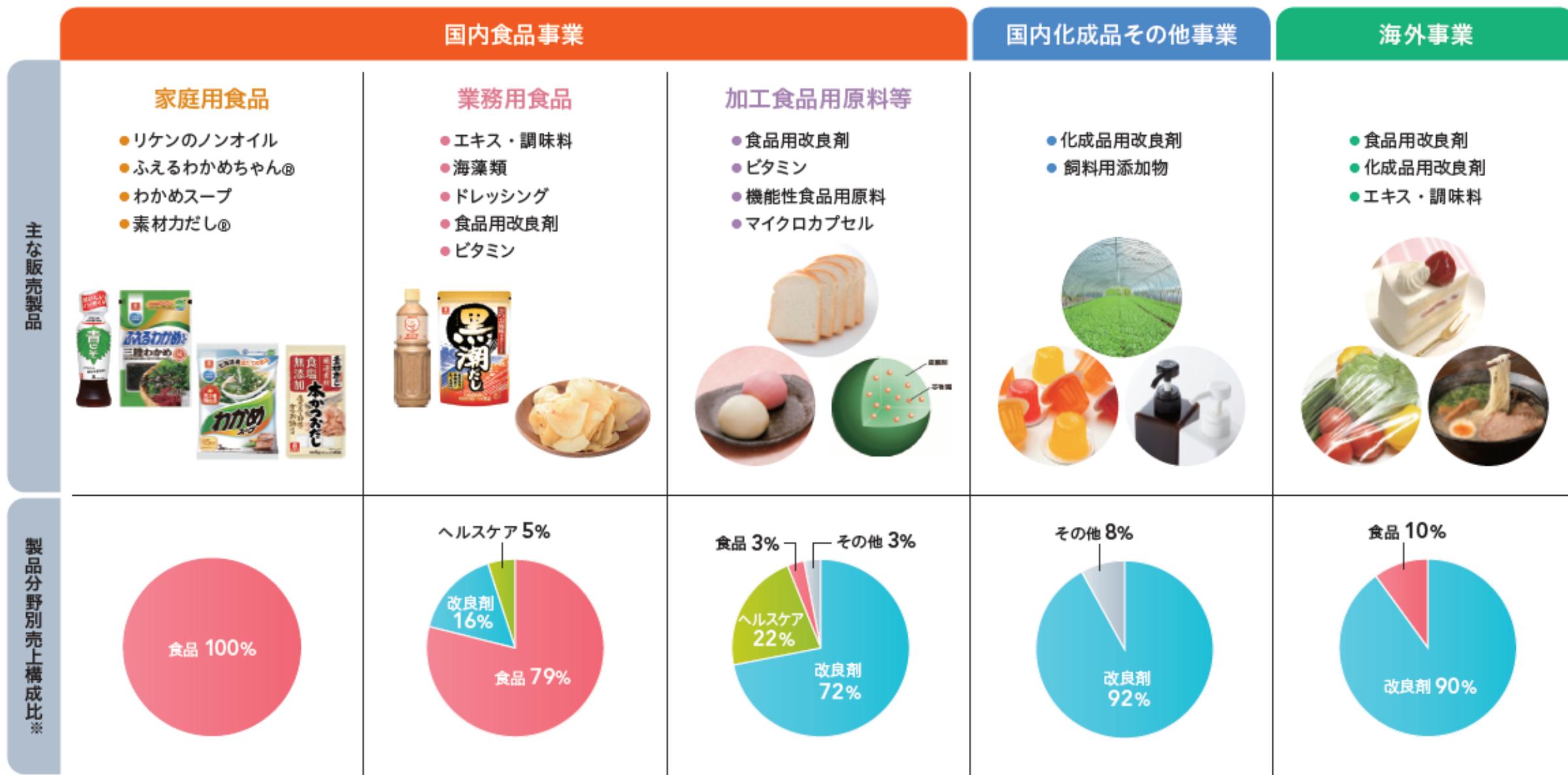
4. 株主還元

BtoBが8割以上、海外売上高は4分の1

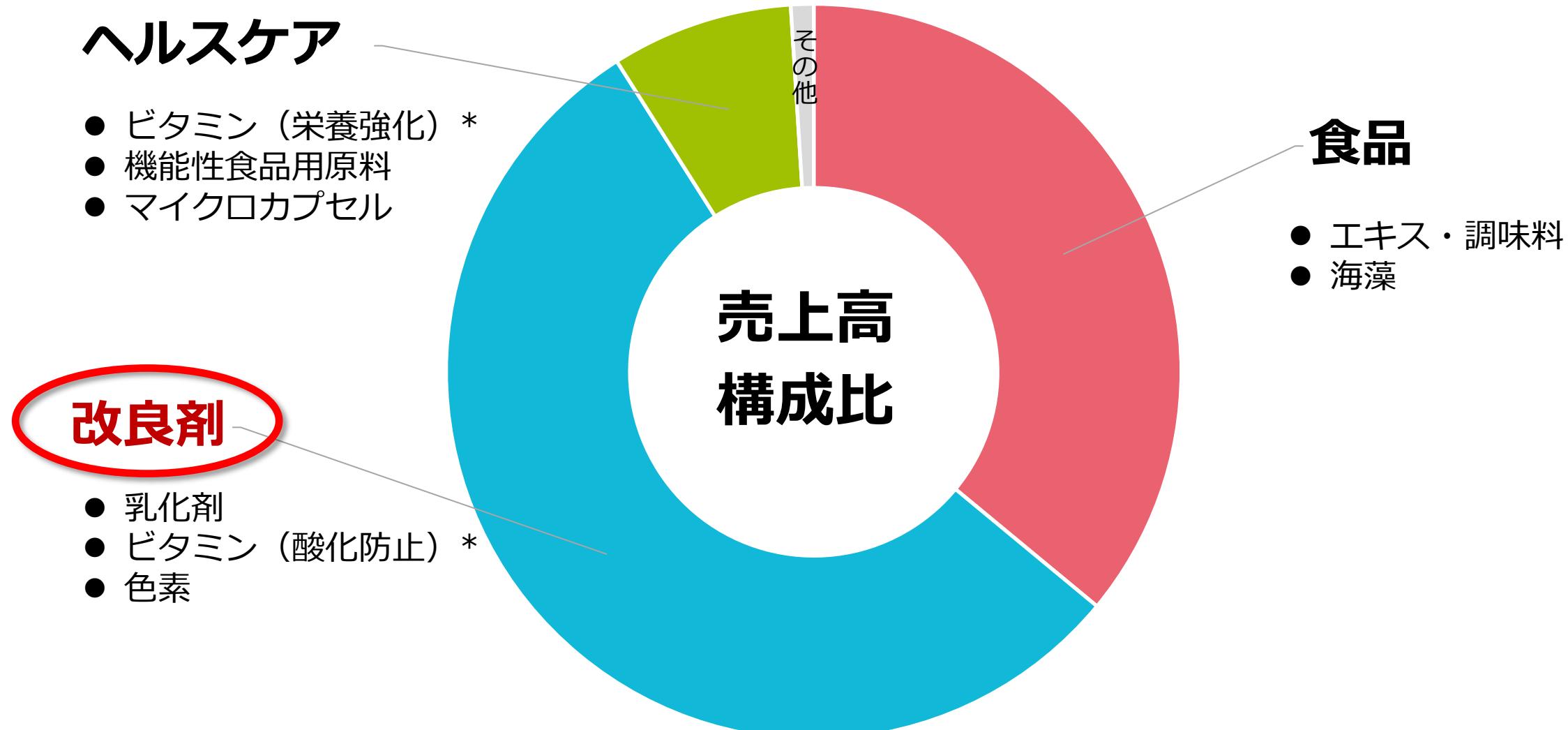
セグメント	主な販売先
国内食品事業	
家庭用食品	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパー・マーケット ・ドラッグストア
業務用食品	<ul style="list-style-type: none"> ・産業給食・学校給食 ・外食産業 ・コンビニエンスストア ・加工食品メーカー
加工食品用原料等	<ul style="list-style-type: none"> ・加工食品メーカー ・健康食品メーカー ・医薬品メーカー
国内化成品その他事業	<ul style="list-style-type: none"> ・化成品メーカー
海外事業	<ul style="list-style-type: none"> ・海外加工食品メーカー ・海外化成品メーカー ・海外外食産業



各セグメントの主な販売製品と製品分野別売上構成



※ビタミンは用途にかかわらずヘルスケア分野の売上に含めています。



*ビタミンは用途別に実績が分けられないため、用途にかかわらずヘルスケア分野の売上に含む

改良剤 = 加工食品や化成品に機能を付与する原料

食品用改良剤



食感改良、老化防止

パンをふんわりとした食感に
時間が経っても硬くなりにくく



ほぐれ性改善、酸化防止

麺をほぐれやすく
酸化を抑えて保存性向上



消泡、凝固調整

大豆を煮る際の泡を抑制
にがりで固まるスピードを調整



着色

天然由来の色素を扱いやすく加工
さまざまな食品に彩りを付与

化成品用改良剤



防曇（ぼうどん）

食品用のラップや農業用ハウスの
フィルムが水滴で曇るのを防ぐ



帯電防止

静電気の発生を抑制
埃の付着や電子機器への影響を防ぐ



可塑（かそ）

硬い樹脂を柔らかくし、
成型加工しやすく



化粧品・トイレタリー製品向け

- ・クレンジング剤の洗浄力アップ
- ・ハンドソープの増粘 など

幅広い事業展開による多様な価値提供

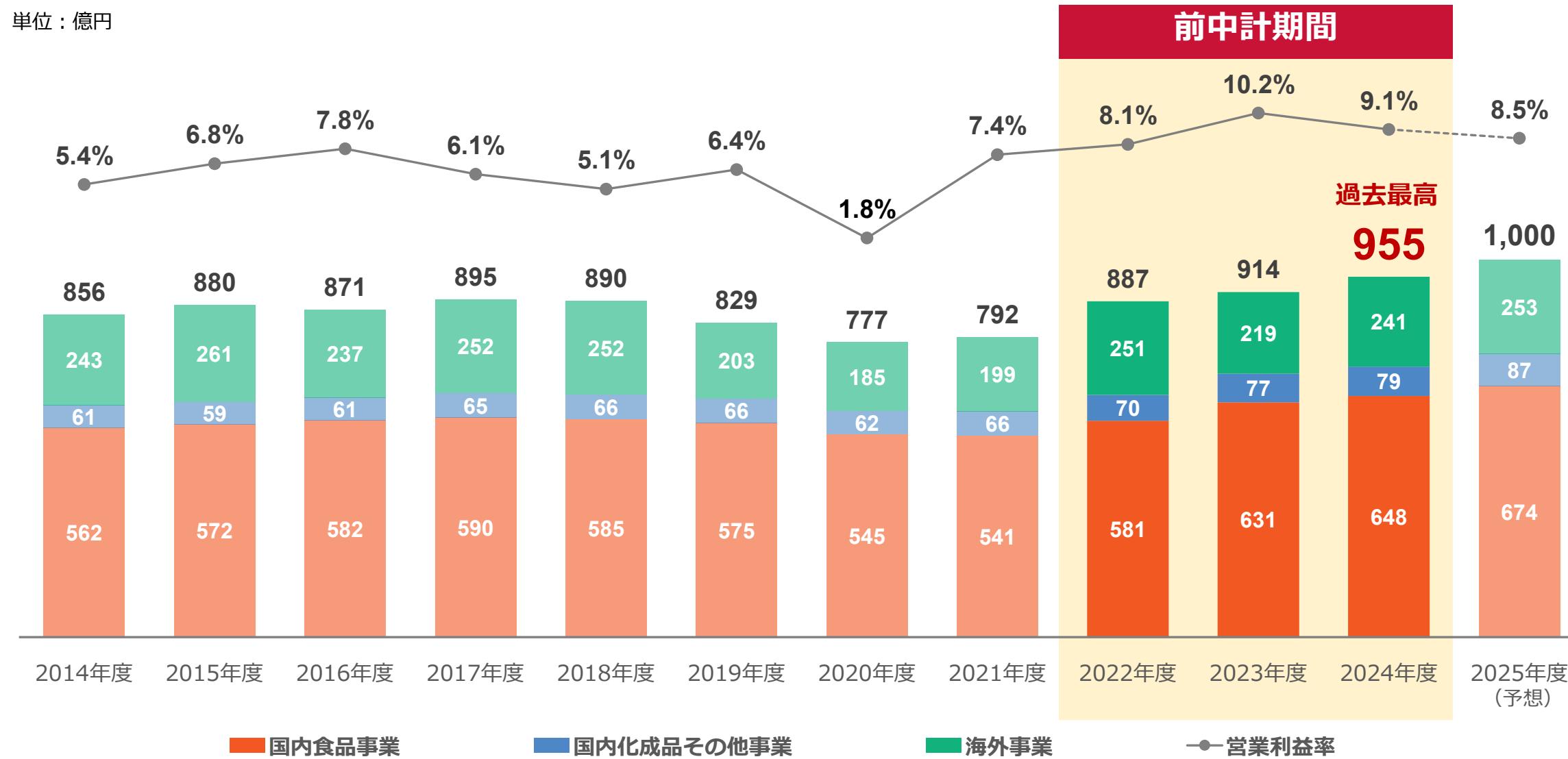
こんなところに理研ビタミン



-
1. 会社概要と歴史
 2. 幅広い事業展開
 - 3. 業績と成長戦略**
 4. 株主還元

セグメント別売上高・連結営業利益率推移

単位：億円

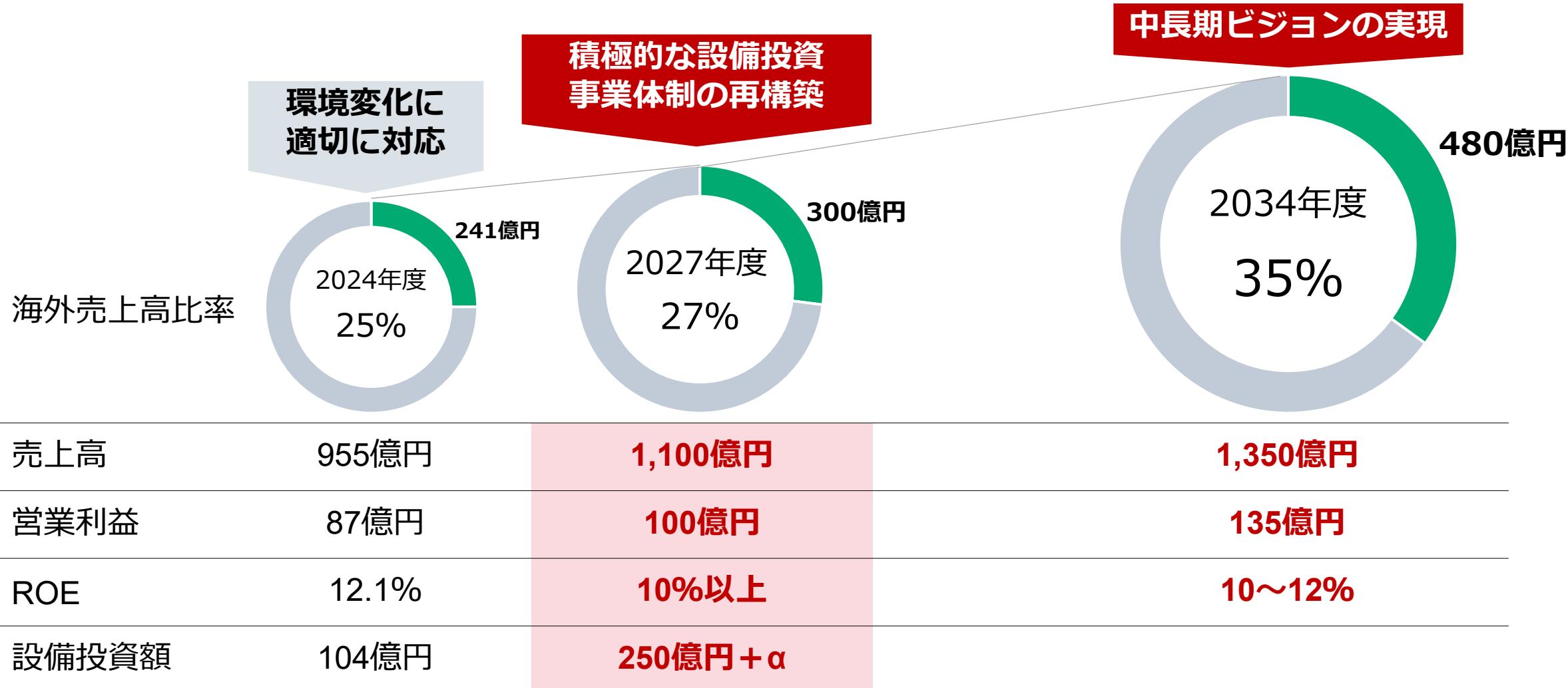


中長期ビジョン

**持続可能な社会を
スペシャリティな製品とサービスで支え、
成長する会社になる**

天然物の有効利用により社会に貢献してきた歴史を踏まえ、当社が関わる幅広い分野の課題解決を通じて持続可能な社会を支えながら成長する会社を目指す。

国内の基盤強化と海外での飛躍に向けた体制整備を進める



東南アジア

成長市場の開拓



- 2025年4月、タイとベトナムに販売会社を新設
- ベトナムでは12月から改良剤の現地生産を開始
- シンガポールの拠点とも連携し市場開拓を図る

高付加価値品へのシフト



- 改良剤工場の生産ライン刷新を計画中
- 汎用品中心の体制から高付加価値品にシフト

北米

新規エリアへの提案強化



- 2026年度1Q、販売・開発拠点をテキサス州に移転予定（※現在はカリフォルニア州）
- アメリカ東部や中西部へのアクセスが向上

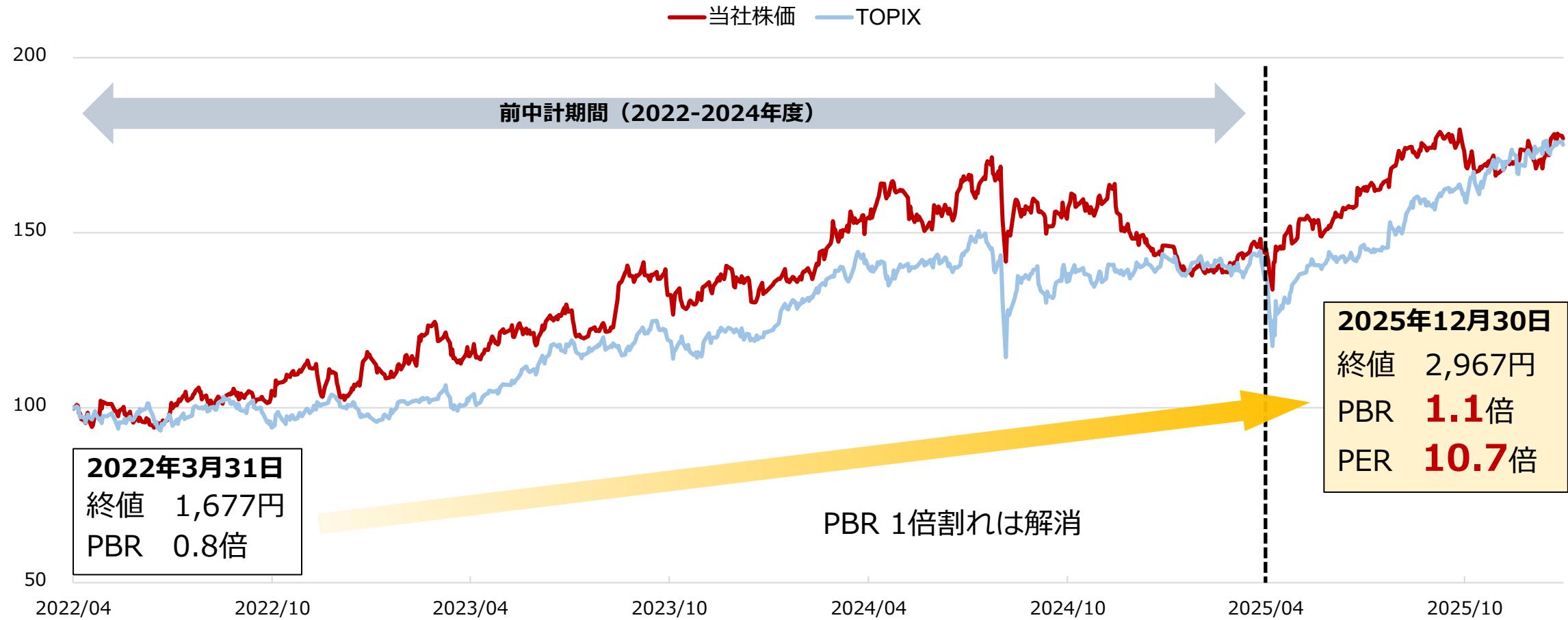
ラーメンブームへの対応



- ラーメンスープ向けのポークエキスが好調
- 2026年夏に生産能力を1.5倍に増強予定

-
1. 会社概要と歴史
 2. 幅広い事業展開
 3. 業績と成長戦略
 - 4. 株主還元**

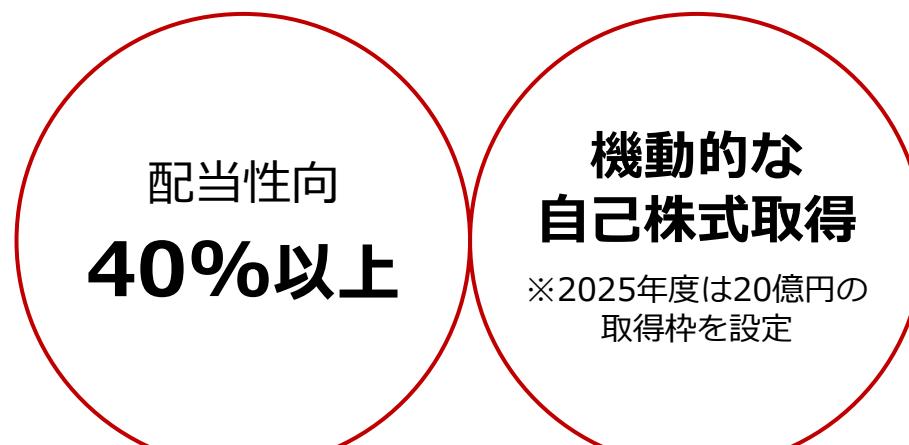
前中計の3年間で着実に株価は上昇も、いまだ割安水準



※2022年3月31日終値（当社株価：1,677円、TOPIX：1,946.40）を100として数値化

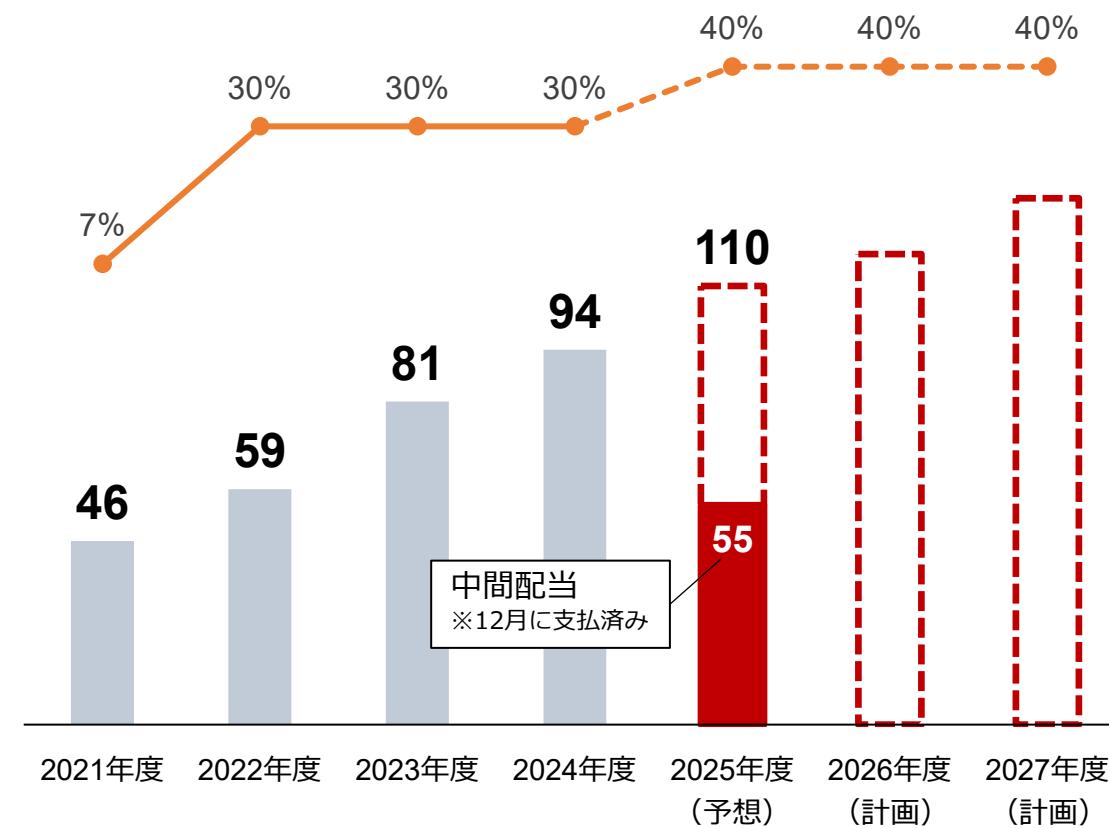
配当性向を40%以上に引き上げ

| 中計2027の株主還元方針



3年間の株主還元総額
124億円～

| 1株当たり配当金(円)と配当性向の推移



保有株式数・保有期間に応じて自社商品を贈呈

- 贈呈回数は**年2回**
- 保有株式数および保有期間に応じて
株主優待品がランクアップ

基準日	発送時期（予定）
3月31日	7月
9月30日	1月



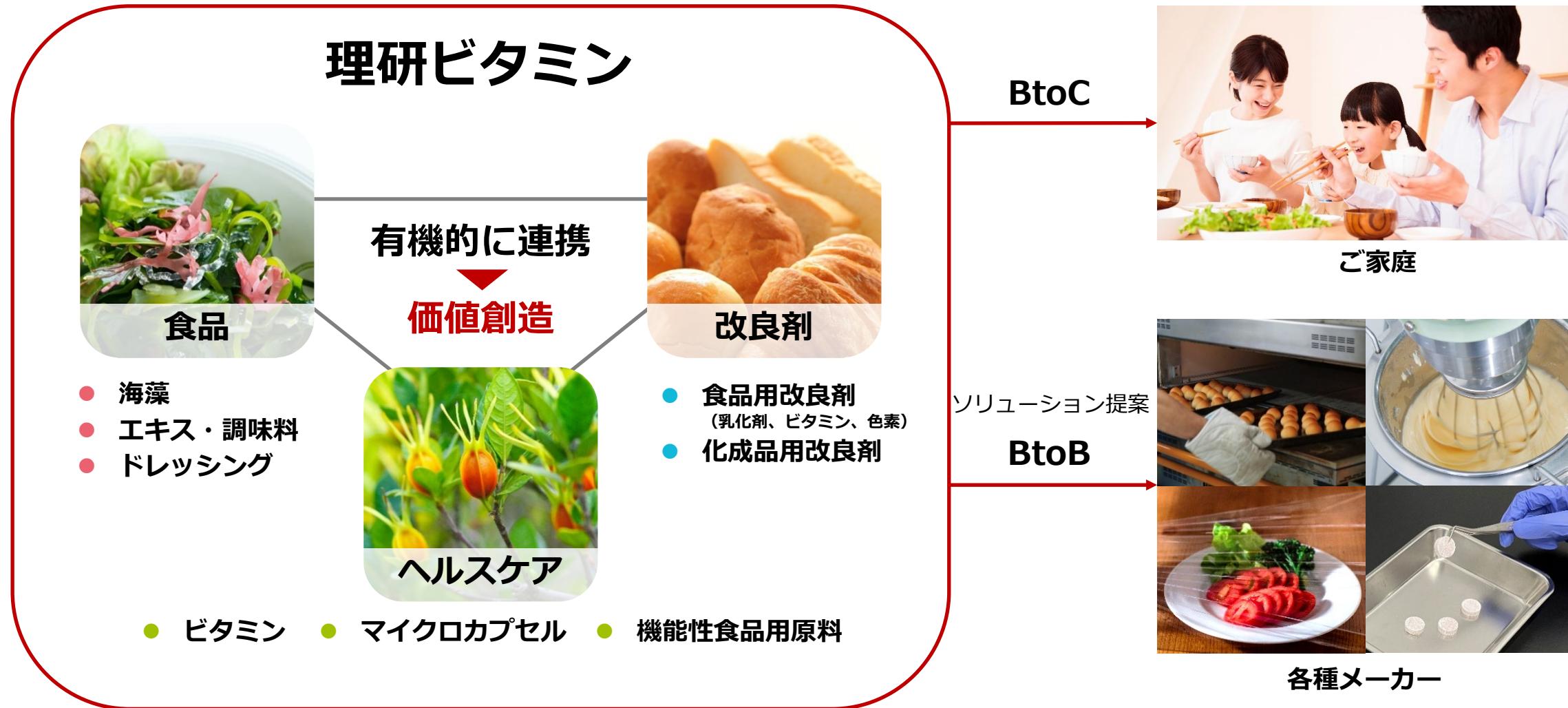
2,000円相当の商品例

保有株式数・保有期間の基準

保有株式数	保有期間3年未満	保有期間3年以上
100株以上、500株未満	1,000円相当	2,000円相当
500株以上、1,000株未満	2,000円相当	3,000円相当
1,000株以上、3,000株未満	3,000円相当	4,000円相当
3,000株以上	4,000円相当	5,000円相当

条件の詳細は当社[ウェブサイト](#)をご覧ください

BtoCとBtoBの両輪で豊かな暮らしを支えるユニークな企業



【理研ビタミンの中長期ビジョン】

持続可能な社会を
スペシャリティな製品とサービスで支え、
成長する会社になる



理研ビタミン株式会社